

「第 3 回日本国際観光映像祭」のオンライン開催について

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地方の観光関連産業は、非常に厳しい状況に立たされております。あおもり創生パートナーズは、こうした環境であればこそ、優れた映像作品で地域の認知度を向上させ、また、ビヨンドコロナの誘客促進、反転攻勢に向けて、デジタルマーケティングとの連動や観光技術の向上を図る意義が非常に大きいと考え、県内市町村への作品募集の働きかけという形で本映像祭に協力し、その結果、弘前市からもエントリーすることとなりました。
- 2019 年より開催されてきた日本国際観光映像祭が、今年は、**京都・清水寺で 3 月 2 日(火)～3 日(水)の日程**で開催され、**オンライン配信**されます。
- 日本国際観光映像祭は、観光映像を研究する和歌山大学の木川教授が立ち上げた**日本初で唯一の国際観光映像祭**です。
- 2020 年 11 月、本映像祭は、UNWTO（国連世界観光機関）が認定する**国際観光映像祭ネットワーク CIFFT への加盟を認められました**。今回は CIFFT 認定後、初の開催となります。
- 今回の映像祭への応募総数は国内 120 本、国際 1,207 本の総数 1,327 本で過去最大です。「観光誘客」や「観光商品」などのカテゴリーで審査され、映画祭の 2 日目に各部門賞や最優秀賞が選出されます。**青森県からは、当社の働きかけを通じ、弘前市の映像がエントリーしました。**
- **オンライン配信の配信サイトは当日までに日本国際観光映像祭の HP (<https://jwtff.world/>) に掲載され、どなたでも無料で視聴いただけます。**
- 映像祭の詳細は、添付の「ご告知のお願い」、「第 3 回日本国際観光映像祭 概要書」（国立大学法人和歌山大学）を参照してください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

あおもり創生パートナーズ株式会社（担当：竹内紀人）

E-Mail: acp@acp.a-bank.co.jp TEL: 017-718-3161 FAX: 017-735-3417

国立大学法人和歌山大学 国際観光学研究センター

E-Mail: info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp TEL: 073-457-8559



◆ ご告知のお願い ◆

**「第3回 日本国際観光映像祭」オンライン開催決定！
3/2(火)～3(水) 今年は京都・清水寺から特別プログラムで
過去最大の応募総数1327本！ 世界／日本の観光映像ベスト1を選出!!**

2019 年より大阪・中ノ島で開催してきた日本国際観光映像祭を、今年は京都・清水寺に会場を移して3月2日と3日に開催します。日本国際観光映像祭は、観光映像を研究する木川教授が立ち上げた日本で初めて&唯一の国際観光映像祭。2020年11月24日にUNWTO（国連世界観光機関）が認定する国際観光映像祭ネットワーク CIFFT の正式メンバーに認定され、今回が正式加盟後初の開催となります。現在のCOVID-19の拡大を考慮して、オンライン配信で全世界に公開する運びとなりました。

CIFFT は1989年にオーストリアで設立された15の国際観光映像祭のネットワークで、世界最大の影響力を持ちます。本映像祭のほか、加盟各映画祭の国際部門で受賞した映像にはポイントが付与され、他の CIFFT 映像祭で得たポイントと合算して、その年の世界一の観光映像の選出に用いられます。第2回日本国際観光映像祭に出品され、Tourism Services 部門最優秀賞に輝いた『龍言から ryugon』（新潟県魚沼市）は、2020年の CIFFT 世界ベスト観光映像で世界第2位に輝き、注目を集めました。

第3回日本国際観光映像祭への応募総数は国内120本、国際1,207本の総数1,327本で過去最大。Tourism Destination（観光誘客）や Tourism Product（観光商品）などのカテゴリーで審査され、映像祭の2日目に各部門賞、そして最優秀賞が選出されます。

映画祭ではさらに、清水寺からCOVID-19終息や世界の平和を願う法要を中継するほか、観光映像、デジタルマーケティング、XR映像などについてのシンポジウムも実施。また、今年初の取り組みとして、観光と住民との関係をクリエイターたちが現地滞在して考えながら観光映像を制作した与論島でのアートプロジェクト、ART&FACTORY JAPANの報告会も実施します。

※ 映画祭の詳細については、添付資料もご参照ください。

本件についてのお問合せ:

国立大学法人和歌山大学 国際観光学研究センター <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>
TEL : 073-457-7025 E-mail : info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

第3回日本国際観光映像祭 概要書

【名称】

日本語表記：第3回 日本国際観光映像祭

英語表記：Japan World's Tourism Film Festival

【開催の背景と目的】

観光は対話と世界の平和を希求するものです。世界では国と国の争いが未だ絶えることなく、COVID-19は人々の間に猜疑心をもたらし、利己的行動が広がっています。観光の語源は易経の「観国之光」にあるとされていますが、これは自らの魅力を伝えることと同時に他者の魅力を受け入れ理解することでもあります。観光を通じて遠い国の文化や人々の生活を知り、対話する。ここに観光の平和への貢献があります。

本映像祭はこのような“より良き観光”を目指し、観光映像のあり方に注目しています。昨年11月24日にUNWTO 認定の国際観光映像祭ネットワーク CIFFT（※1）の総会において日本国際観光映像祭は正式にネットワークへの加入が認められ、本年度は国際部門1207本、国内部門120本の応募作品が寄せられています。

「第3回日本国際観光映像祭」では優れた作品や映像制作者の表彰による観光映像の新たな表現者の発掘、観光映像にとって焦眉の急であるデジタルマーケティングとの連動、VR やXR を用いた観光映像技術の向上などを目的としたシンポジウムなどを行います。また、今回は初めて与論島をフィールドにART&FACTORY JAPAN（※2）を行います。

本映像祭はSDGsを考慮した観光映像、地方誘客を目的としたデジタルマーケティングの手法などの議論を通じて、平和、文化への貢献とこれからの日本を支える観光立国においてますます重要となる観光映像のあり方を考えてまいります。

（※1）CIFFT…The International Committee of Tourism film Festivals

公式ページ <https://www.cifft.com/>

（※2）ART&FACTORY JAPAN…映像祭のプログラムの1つ。指定された条件（テーマ・地域・制作期間など）に基づき、事前エントリーした映像制作チームが撮影・編集した作品を審査・評価する企画。

【開催日程】

開催日：2021年3月2日（火）～3月3日（水） 9：30－17：30（予定）

会場：音羽山 清水寺（所在地：京都市東山区清水294）

【開催方式】

会場よりオンライン配信。配信サイトは当日までにホームページに掲載します。

【主催】

日本国際観光映像祭実行委員会（代表 木川剛志）

（構成：和歌山大学国際観光学研究センター、摂南大学、和歌山大学観光学部）

【共催】

観光映像プロモーション機構設立準備委員会

【参加費および作品審査費】

無料

【協賛・協力】

大日本印刷株式会社 日本ユニシス株式会社

【ART&FACTORY JAPAN 共催・協力】 共催：与論町 / 協力：DJI JAPAN 株式会社

こちらの企画は、現在、Motion Gallery にてクラウドファンディングを行っています。

返礼品は、ART&FACTORY JAPAN 作品への投票権や地元与論町の特産品や銘酒などです。

このような仕組みを通じて、地方の観光振興・誘客の新しい手法を模索します。

詳しい企画内容は、以下を参照

https://motion-gallery.net/projects/factory_japan2021

【協力】

株式会社 JTB、西日本旅客鉄道株式会社、日本航空株式会社、株式会社青森銀行、

あおり創生パートナーズ株式会社、一般社団法人日本巡礼、株式会社 J ストリーム、パロニム株式会社

【後援（申請中を含む 15 団体）】

観光庁、京都府、京都市、近畿総合通信局、一般財団法人 地域活性化センター

公益社団法人 北海道観光振興機構、一般社団法人 東北観光推進機構、

一般社団法人 関東観光広域連携事業推進協議会、一般社団法人 中央日本総合観光機構、

一般財団法人 関西観光本部、一般社団法人 セとうち観光推進機構、

一般社団法人 山陰インバウンド機構、一般社団法人 四国ツーリズム創造機構、

一般社団法人 九州観光推進機構、一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー、

【主たるターゲット層】

自治体広報部門、観光関連事業者、映像制作者、学生、市民

【公式サイト】

<http://jwttf.world>

【プログラム】

応募映像への授賞式、清水寺でのコロナ終息と世界における対話を願う法要、ART&FACTORY JAPAN プレミア上映やシンポジウムなどをオンラインで配信します。詳細は順次公式サイトで公開します。

〔日本国際観光映像祭お問い合わせ先〕

木川剛志

代表，日本国際観光映像祭実行委員会

教授，和歌山大学観光学部

〒640-8510 和歌山市栄谷 930

e-mail: kigawa@wakayama-u.ac.jp

Tel: 073-457-8559（直通）

Mobile: 090-9114-6743